



Safe Crop Project News



No.22 2019 年 8 月発行

「ベトナム北部地域における安全作物の信頼性向上プロジェクト（2016 年～2021 年）」は、北部地域 2 市 11 省において、「Basic GAP (Good Agricultural Practices)」を始めとする安全作物栽培の技術規範に沿った生産活動、消費者の安全野菜への信頼醸成、及び、多様なサプライチェーンの構築を支援することで、対象地域における安全作物栽培の振興を目指します。

第 3 回 JCC(Joint Coordinating Committee)

6 月 21 日に農業農村開発省(MARD)の Le Quoc Doanh 副大臣を議長に、第 3 回合同調整委員会 (JCC) を開催し、プロジェクト実施機関である作物生産局を始めとする MARD の関連部局やプロジェクトの対象市・地方省、JICA ベトナム事務所、JICA プロジェクトチームから総勢約 45 名が出席しました。

JCC では、本プロジェクトが開始された 2016 年 7 月から 2019 年 5 月までの活動と成果を振り返ると共に、残り 2 年間でプロジェクト目標の達成に向けた協議が行われました。現時点で達成している成果の確認を行ったなかで、対象地域において信頼できる安全作物栽培面積を 180ha (現時点で約 107ha) まで拡大させるためには、各対象農家グループ、地方省政府のより一層の努力と関係者間の協力が必要であることが確認されました。

CPMU(Central Project Management Unit)のプロジェクト実施責任者である作物生産局の Tran Xuan Dinh 副局長からは、「サプライチェーン構築のために、農家を組織化して共同販売を行う安全作物栽培面積を 180ha まで拡大することは実現不可能な目標ではないが、更なる努力が必要であること」、また、「技術協力プロジェクトにおいては省人民委員会(PPC)から PPMU (Provincial Project Management Unit)への予算措置が不可欠であることから、各省において、より具体的で詳細なアクションプランを作成し、農業農村開発局 (DARD)内の関連組織、計画投資局、財務局等と緊密に調整を図って予算を確保すること」が提言されました。

プロジェクト活動と省の関連プログラムの統合も行いながら、6 グループを対象に活動を実施しているハイズオン省 PPMU の副代表 Vu Thi Ha DARD 副局長からは、共同販売やマーケティング活動への継続的な支援が要請されると共に、「より迅速に目標を達成するためのアクションプランを検討中であること」、「他省に対しても経験共有を行っていくこと」が述べられました。



JCC において発表を行う Tran Xuan Dinh 副局長

今回の JCC では、実際に実施してきたプロジェクト活動と残り 2 年間で達成が期待される成果に即した PDM の改訂 (指標の上方修正や新たな指標の追加等)、パイロット省 (ハイズオン省、ハナム省、フンエン省) における、自らのイニシアティブで安全作物栽培を振興するためのアクションプランの作成、及び、CPMU と JICA 専門家チームによる経験共有省への普及活動とその活動における関係機関の役割の明確化や経験共有省 3 省におけるターゲットグループの選定に関する協議も行われ、JCC において合意が為されました。

第 3 回 JCC は、CPMU、PPMU を始めとするベトナム政府機関関係者の実施主体としての意識の高まりが確認できる活発な議論をもって終了しました。残り 2 年間、プロジェクト目標達成と、プロジェクト終了後の持続的な安全作物栽培振興に向けた支援を行っていきます。

対象グループの紹介—ハナム省

今号では、パイロット省ハナム省より追加で選定された Thanh Tan 安全野菜生産グループと Cat Lai 農協を紹介させていただきます。以下、ハナム省 DARD に紹介レポートをいただきました。

Thanh Tan 安全野菜生産グループ

6 世帯で編成される Thanh Tan グループは、野菜栽培に適した 1ha の土壌において、トマト、トウガン、キュウリ、空芯菜、サイシン、キャベツ、コールラビ等を生産しています。主力商品のトマトとトウガンは、品質・見た目が良く、サイズも揃っています。プロジェクトで支援を受けたラベルを貼付した商品はバイヤーからも良い評価を得ており、ハナム省の 2 箇所の取引先と安定的な契約を締結しています。トマトは 1kg 当り平均 10,000VND で、トウガンは 1kg 当り平均 12,000VND で販売され、世帯平均で 1 作期に約 1 億 VND の売上げがありました。



トマトの収穫を行う Thanh Tan グループのメンバー農家

Cat Lai 農協



Cat Lai 農協におけるカラシ菜栽培

16 世帯がプロジェクト活動に参加する Cat Lai 農協は、2.5ha において、主に葉菜類、葉ネギ、トマト等を栽培しています。農家は伝統的に野菜栽培を行っており、栽培される野菜は品質、見た目に良い商品となっています。

いずれの対象グループにおいても、参加世帯と緊密に連携した共同販売体制の構築が課題となっており、取引があるバイヤーもまだ限定的です。また、収穫後処理施設がなく、現状、世帯ごとに前処理とパッキングを行っています。それぞれの対象グループでは、引き続き、メンバー世帯が共同販売に参加するよう働きかけると共に、イベントやフォーラムへの参加、またバイヤーとの直接の面談等を通じて商品を紹介する取組みを行っています。

以上、ハナム省 DARD に紹介いただきました。プロジェクトでは引き続き現状の栽培エリアにおいて共同販売体制の構築と強化、販路開拓の支援を実施すると共に、課題である収穫後処理施設整備の支援も行っています。

共同販売

前号では、共同販売の概要について紹介させていただきました。今号では、2017 年 4 月に対象グループとして選定されて以降、安全野菜栽培と販路開拓に取り組んでいる Tan Minh Duc 農協の Phung Thanh Mung 代表に、共同販売の現状や今後の展望について報告いただきます。



農協を訪問したハノイ女性消費者クラブのメンバーにネットハウスにおけるキュウリ栽培について説明する Mung 代表

2014 年に 2012 年制定の協同組合法に沿って現在の Tan Minh Duc 農協を設立しました。旧農協からのメンバー全員が新農協に参加しています。農協では、共同販売において必要となる、集荷前処理施設や配送トラック (4.5 トン) を有しています。集荷前処理施設は ADB の支援で建設された既存施設を、安全性や品質の確保に見合うよう、本プロジェクトの支援を得て改修しました。また生産施設として、プロジェクト対象農地に 700m² のネットハウスを、安全野菜生産条件認証取得農地に 5,000m² のネットハウスを設置しました。前者は一部プロジェクトの支援を得て、後者は省のプログラムから 25% の補助を得て設置しました。

共同販売開始直後は、市場価格の変動に追いつくことができずに苦労しました。バイヤーが求める規格に適った前処理やパッキングを行うことも難しかったです。これらの課題には、日々学びながら適切な改善を図ることで対応しています。また、共同販売に参加するメンバーの利益を確保しながら組合の利益も確保するために、経費削減にも努めています。

共同販売は、安全野菜の発展、そしてメンバーの収入と農協の利益向上において大きな効果があると考えています。現在農協メンバー全体の共同販売への参加率は 25% 程^{*1} ですが、今後、既存の販路の維持と新しい販路の開拓を通じて共同販売への参加率を 80% まで上げることで、農協の売上げと利益の拡大を目指していきたいと考えています。

Tan Minh Duc 農協

設立年	2014 年 8 月
農協メンバー数/プロジェクト参加農家数	168 人/51 人
安全野菜生産条件認証取得農地/プロジェクト対象農地	27 ha/9.65 ha
主な栽培作物	トマト、キャベツ、コールラビ、キュウリ、スイカ
主要作期安全作物生産量	320 トン

以上、Mung 代表に報告いただきました。プロジェクトでは、Tan Minh Duc 農協が共同販売への参加率を維持しながら、プロジェクト対象農地を安全野菜生産条件認証取得農地全体まで拡大することができるよう、夏作においても GAP に沿った生産、記帳の徹底、品質改善、販路開拓支援等を継続して実施中です。

^{*1}2018-2019 年冬作におけるプロジェクト参加農家の共同販売への参加率は 88%。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしております

JICA プロジェクト事務所

Room 201, Department of Crop Production, Ministry of Agriculture and Rural Development,
2 Ngoc Ha Str., Ba Dinh Dist., Hanoi, Vietnam
Tel/Fax : +84 24 3244 4373, Email: safecropproject@gmail.com